

デジタル田園都市国家構想推進関連施策資料

**施策名：革新的ロボット研究開発等基盤構築事業
うち、自動配送ロボットの社会実装**

経済産業省商務サービス・グループ物流企画室
03-3501-0092 s-shosa-butstryukikaku@meti.go.jp

施策分類	①予算	4つの視点に基づく分類	③地方の課題を解決するためのデジタル実装	予算要求額	令和4年度当初一般会計 948百万円の内数
------	-----	-------------	----------------------	-------	--------------------------

施策効果の詳細
自動配送ロボットの企業の技術開発及び実証を支援するとともに、関連調査及び社会受容性向上を目的とした発信等を実施することによって、国内での自動配送サービスの社会実装を進め、特に地域における買物弱者の増加やEC拡大等に伴うドライバー数の減少などの社会課題解決を目指す。

目的	<ul style="list-style-type: none"> サービス事業者のユースケースに対応し、より事業採算性を高めることを目的とする、機体や遠隔監視・操作システムの技術開発及び実証を支援。 海外事例を踏まえ、サービス市場の拡大に向けた官民による検討や実証成果の発信等を実施。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 企業の技術開発及び実証の支援については、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）を通じ企業に対し補助。 関連調査及び社会受容性向上を目的とした発信等については、委託事業により実施。
-----------	--	-----------	--

＜①公道実証を通じた技術開発等の支援＞

(i) 実証支援

- 実サービスに近い環境における実証等を支援

(ii) サービス提供者のユースケースに対応し、事業採算性を高めるための機体等の技術開発

- サービス事業者のユースケースに対応し、より事業採算性を高める技術開発を支援（例：1：N（複数台）の遠隔監視・操作による走行を可能にする機体やシステムの技術開発）

＜②サービス普及促進等にかかる関連調査・広報事業＞

(i) 関連調査・官民協議会の運営等

- 国内での普及に向けた官民による検討を行うとともに、国際標準化の議論、海外動向等を調査し、国際競争力強化の戦略の検討等を実施


(ii) 広報事業

- 社会受容性向上を目的とした、実証成果等の発信を実施

＜参考:令和3年度採択事業＞

配送ロボットの人共存状況の実環境走行における機能技術開発（パナソニック株式会社）

住宅街において、公道を走行する低速・小型の自動配送ロボットによる安全・安心な配送サービスの実現を目指し、技術開発を実施。



（神奈川県藤沢市）

＜中長期的取組＞

地域での実用化に向けた技術開発及び実証を支援するとともに、技術開発成果や実証の成果について発信することにより、地域における自動配送サービスの社会実装を強力に推進し、デジタル田園都市国家構想の実現に貢献します。

2022年度	2023年度～2024年度	2025年度以降
技術開発及び実証支援 （例：1：Nの遠隔監視・操作走行を可能にする機体等の技術開発等）	・更なる技術開発及び実証支援 （例：多機能化や他モビリティとの組み合わせによる配送技術等） ・自動配送サービスの社会実装支援	地域における自動配送サービスの更なる推進
海外の情報等も踏まえた、自動配送ロボットのサービス市場拡大に向けた官民による検討や採択事業の技術開発成果・実証成果の情報発信		